



No.3559

第3877回例会
令和7年7月2日

OBIIIRO ROTARY CLUB DISTRICT 2500

会長 飛岡 抗

方針『夢をはぐくむロータリー』

2025-26年度国際ロータリーのテーマ よいことのために手を取りあおう

■会長報告



飛岡 抗 会長

今日から新年度が始まりましたが我々、大変緊張しております。まずは、前年度の村松会長、大江幹事はじめ役員・理事・委員長の皆さん1年間ご苦労様でした。

3月29日の帯広RC創立90周年記念式典・祝賀会皆さんご苦労様でした。素晴らしい式典で札幌RC・京都東RCの来賓の方からもおほめの言葉を頂きました。歴史は振り返るそして伝統は皆さんと作り上げることなのだと深く考えさせられました。ところで、3年ごとの規定審議会2019年では、ローターアクトがロータリーアンと対等身分として、更に年齢制限撤廃若しくは、35歳までとなり各ロータリーの例会へは自由にメーフィーできるようになりました。そして人頭分担金も一人地域社会を基盤とするクラブは、8ドルとなりました。(大学を基盤とする場合5%)また、ロータリー財団への寄付金額に応じて補助金が受けられる場合もあるということです。さて、1年半前の年次総会で会長エレクトお受けしてから、あつという間に今日の日を迎えることになってしまいました。2019-20年度帯広ロータリークラブ小沢年度で幹事を拝命してから早6年がたちます。私も今年で66歳で高齢者の仲間入りとなる年齢になりました。平成20年(2008)10月6日入会してから16年が経過し17年目に入っている自分に歳月の流れを実感しています。私の推薦者は当時株式会社ノイエルの片所幸一社長で、その年会長は曾我彰夫社長でした。そして、その年度会員数は98名でした。現在同期入会の会員は、進藤敦史会員一人が同級生ということになります。入会後は田中バストガバナーはじめ多くの諸先輩をはじめ会員皆様の友情に支えられてきました。まだまだ会長としては微力ではありますが、先輩たちから引き継いでいる帯広ロータリークラブの歴史と伝統をしっかりと守り後輩たちに伝えて行く所存でございますので、皆さんのご協力お願い申し上げまして、会長報告とさせて頂きます。

■ビジター紹介

RI第2500地区 米山記念奨学生 鳥達木 様

■会務報告

池田 健太 幹事

- ①帯広RAC、「ImpACT」例会のご案内
日時 7月3日(木)午後7時30分 場所 とかちむら
※詳細は、青少年育成委員会まで
- ②帯広西RC、夜間例会開催のご案内(ガバナー公式訪問例会)
日時 7月10日(木)午後6時30分 場所 北海道ホテル
- ③帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内
日時 7月15日(火)午後6時30分 場所 十勝星空ビアガーデン
- ④帯広RC、ガバナー公式夜間例会開催のご案内
帯広RC、ガバナー公式訪問例会開催のご案内
日時 7月16日(水)
意見交換会 17:00~18:00 (理事・役員・各委員長)
夜間例会 18:30~20:30
場所 ホテル日航ノースランド帯広
会費 5,000円
※アルコールができますので、飲まれる方は運転をお控えください。
記念撮影がございますので、18:00頃にノースランド3F写真室にお集まりください。
- ⑤帯広西RC、7月17日(木)の例会は、休会と致します。
帯広南RC、7月21日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。
帯広東RC、7月29日(火)の例会は、休会と致します。

■新会員紹介 (会員増強委員会)



吉田 一子 君 紹介
推薦者:小沢 昌博 会員
柴田 勇一 君 紹介
推薦者:讃岐 武史 会員

■委員会報告

【ニコニコ献金】 (親睦活動委員会)

<林 佑太 会員>

6月25日最終夜間例会では、親睦演劇団や二次会まで大いに盛り上がって頂きました。今年度も親睦活動委員会の魂を引き継ぎ帯広ロータリークラブを盛り上げてくれるかと思いますので乞うご期待ください。

<吉田 一子 会員>

本日より歴史と伝統有る帯広ロータリークラブに入会させて頂きます。よろしくお願い致します。地域、社会への貢献に努めたいと思います。分からぬことが多いですが宜しく願いいたします。

<小沢 昌博 会員>

吉田一子さんの入会をご承認頂き有難うございました。

<柴田 勇一 会員>

本日より入会させていただきます。宜しくお願い致します。31年ぶりに帯広・十勝に帰って来ました、これから精進致しますので宜しくお願いします。

<讃岐 武史 会員>

柴田勇一さんの入会をご承認頂き有難うございました。

<誕生記念日祝(7月)>

小沢 昌博 会員

木村 尚志 会員

中野 正宏 会員

林 佑太 会員



<結婚記念日祝(7月)>

飛岡 抗 会員 櫻井 博一 会員 川上 義史 会員

吉田 隆佳 会員

<配偶者様お誕生記念日祝(7月)>

和田 賢二 会員 川上 義史 会員 國枝 千秋 会員

木村 尚志 会員 外崎 裕康 会員 鍋田 大樹 会員

【ボリオ撲滅募金箱】 (ロータリー財団委員会)

帯広空港2階に7月5日から10月24日まで募金箱を設置してボリオに対する関心を高める活動を実施します。

■プログラム 「会長・役員・理事就任挨拶」

(理 事 会)

・会長就任挨拶 飛岡 抗 会長



最初に、フランチェスコ会長と佐渡正幸(釧路北RC)ガバナーの今年度の方針を伝え、私の今年度の考えをお話しようと思います。

今から120年前、1905年ポール・ハリス達4人により産声を上げたロータリー運動は、その志に共感したクラブが次々と生まれ、15年後の1920年(大正9年)10月20日には米山梅吉氏と当時三井物産ニューヨーク支店長の福島喜三治により東京ロータリークラブが設立されました。

更にその15年後の1935年(昭和10年)3月15日には札幌ロータリークラブをスポンサークラブとして、チャーチメンバーワーク19名で帯広ロータリークラブは誕生しました。

日本ロータリー創立順位では16番目、北海道では5番目に創立されたクラブでした。そして、帯広北RC(1952)広尾RC(1962)芽室RC(1962)足寄RC(1962)清水RC(1963)上士幌RC(1965)帯広西RC(1972)更に帯広ローターアクトクラブのスポンサークラブとなりました。

以来今年度で90周年を迎えるにあたり当時の先輩たちの志と理念に対する思いに深い感銘を表し、90年に渡る奉仕の理念を引継いでいる、帯広ロータリークラブの歴史と伝統の重みを、今更ながら日頃の勉強不足を痛感しています。

さて、今年度国際ロータリーのフランチェスコ・アレッツォ会長は1年間のメッセージを「よいことのために、手を取りあおう」をかかげました。

ロータリー会員は、人ととのつながりがもたらすパワーを活かして、新会員を増やし、奉仕プロジェクトで協力し、世界的なインパクトをもたらしながら、前向きな変化を生み出しています。

それを踏まえて目指すビジョンとして、帯広RCは、奉仕活動を促す先進的かつ多様な奉仕を組織的に実践することにより、主体的に考え行動でき、社会で必要な問題解決能力を持つ「超我の奉仕」を備えた人材を育成するクラブとなります。

そして、地域社会の問題点解決に向け、実現するために、ロータリアンとしての専門職業人、世界基準で行動できる国際人、健全な多文化共生社会実現に貢献でき、地域社会の更なる発展・貢献を果たすでしょう。

そのために、ロータリアンがアクターと地域と共に成長する意識を持ち、常に地域改革とRCの安定的な運営に全力で取り組むことを約束し、帯広地域の基幹奉仕団体となるでしょう。ここに今年度帯広RCのテーマを「夢をはぐくむロータリー」としました。

1年間皆さん宜しくお願い致します。

このビジョンを成功に導くための3つの戦略として、
1)新入会員・既存会員の成長を実現する特色ある教育・支援の実現
2)変化への対応と新たな魅力の創出による組織改革
3)持続的成長を実現するための寄付・会員基盤の強化(財団・会員増強)
更に、個々がクラブにおける5つの体験(重要目標及び達成指標)として
1)例会での楽しみ(帰属意識)
2)クラブリーダーへの信頼(クラブで意見交換できる環境)
3)個人的な成長の機会(スキルアップ)
4)つながり(人間関係)
5)有意義な奉仕(クラブでの奉仕が世界と地域社会に変化をもたらす)
そこで、各委員会の活動を通して下記6項目を考えてみましょう。

①ロータリーの歴史を学ぼう
「最も多く奉仕するもの、最も多く報われる」の職業奉仕理念
「超我の奉仕」の社会奉仕理念 例会出席=親睦(入れて学び、出でて奉仕せよ)
2つの奉仕の理念を通して見える5代奉仕の活動を実践する運動を進めて行きましょう。

②親睦を深め奉仕を実践しよう
親睦と奉仕はロータリーライフを支える両輪と言われています。どちらが欠けてもロータリーは存続できません。親睦を理解し深め、奉仕活動を実践し、ロータリーを楽しみましょう。

③職業奉仕を理解しよう
アーサー・フレデリック・シェルトンが提唱した奉仕の理念を学び、クラブ会員個々の職業に対する倫理観を高め、奉仕の哲学を実践していきましょう。

④会員増強し、退会を防ごう
帯広RCもまさに会員を増やして行くことにより、クラブ財成の安定化を目指し更に、持続可能となります。ロータリーが人生において有意義なのかを理解して頂き、親睦を深め退会防止しましょう。我々がロータリーの運動を通して地域社会に公共イメージアップを図り、入口を広げ会員増強を図りましょう。

⑤地域社会や国際社会、そして青少年への実践的な奉仕を考えよう
社会奉仕や国際奉仕、青少年奉仕はロータリーの歴史と共に出来上がってきた奉仕活動です。ロータリーの目的や奉仕理念を学び、未来に向けた視点で地域社会に還元できることを見つけて、グローバルなことやこれからリーダーとなる青少年の育成を考え、これらの奉仕を実践しましょう。

⑥ロータリー財団、米山記念奨学会、ボリオ根絶へ協力しよう
我々の寄付がロータリー財団の中でのように使われ、どのような事業に反映されているのかを理解し、積極的な支援を図りましょう。
そして、奨学生との交流を通して米山記念奨学会への理解を深め、留学の目的の支援をし、国際親善に寄与しましょう。
ボリオ根絶今年度は、帯広クラブ単独事業として帯広空港募金箱設置予定です。
期間限定ではありますが、一般市民へボリオ根絶のご理解と公共イメージアップ更に、帯広ロータリークラブとして内外へ広く周知させて頂きます。

以上の方針を掲げさせて頂き、会員の皆さまと共に1年間ロータリーを学んで行きたいと考えます。
どうか皆さまの絶大なる協力の程をお願い申し上げまして、会長就任の挨拶と会長方針に代えさせて頂きます。
1年間よろしくお願いいたします。

・副会長就任挨拶 櫻井 博一 副会長


本年度副会長を拝命致しました櫻井です。1年間お世話になります。昨年12月の総会で、皆様からご承認頂いてから、あっと言う間に本日を迎えた感じです。
皆様もご存知の通り飛岡会長は、ロータリーを愛しています。沢山のやりたい事もあり、もしかすると今例会中だけでは、全てをクリア出来ないかもしれません、私としては精一杯協力したいと考えます。

会長が示した「3つのビジョン」と「5つの体験」の中の内、特に「つながり(人間関係)」を重点に置き、皆様と懇親を深められたら幸いです。

1年間よろしくお願い致します



・副会長就任挨拶 金山 紀久 副会長

このたび、歴史と伝統ある帯広ロータリークラブの2025-2026年度、飛岡年度の奉仕プロジェクト委員会担当副会長を拝命いたしました金山です。このような大役



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

- 創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日
- 事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
- 発行 / クラブ広報
- 委員長 / 三谷 郁央 副委員長 / 佐藤 真康・大友 一弘
委員 / 荒井 純一・石原 宏治・林 浩史
- ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>

を仰せつかり、大変光栄に思っております。

私は、まず、与えられた役割をしっかりと理解し、その責務を誠実に果たすことに努めてまいりたいと思います。

ロータリーにおける「副会長」は、会長を補佐し、会長が不在の際にはその任務を代行する立場とされており、会長に次ぐ「ナンバー 2」の役割ではないことがロータリーの特徴とされております。したがって、あくまで補佐的立場として、自身の役割を見誤ることのないよう、謙虚な姿勢で職務にあたりたいと考えております。

この1年間、櫻井副会長と協調しながら、飛岡会長、池田幹事をしっかりと支え、帯広ロータリークラブの実りある年度運営に貢献できるよう、尽力してまいりたいと思います。

私が担当する奉仕プロジェクト委員会につきましては、各委員会が独立した権限をもって活動していることを踏まえ、越権とならぬよう注意を払い、小沢理事のもとで活動する各委員会が必要とするサポートを適切に行っていきたいと考えております。

さらに可能であれば、今後10年間を見据え、帯広ロータリークラブのビジョンに基づいたストーリー性のある奉仕プロジェクトの展開に向けて、必要な情報の収集と整理に取り組んでまいりたいと考えております。

奉仕プロジェクトのプロセスは、①現状の評価、②プロジェクトの選定、③計画の立案、④プロジェクトの実行、⑤プロジェクトの評価と広報、という流れになっております。このうち、現状の評価については、単年度で十分に行なうことが難しいと感じており、今年度の私の役割のひとつとして、そうした現状の評価に係る基礎情報の蓄積に取り組みたいと考えています。

飛岡会長のご指導を仰ぎながら、池田幹事、櫻井副会長と力を合わせ、中長期ビジョン委員会の和田理事・加藤委員長、奉仕プロジェクト委員会の小沢理事をはじめとする多くの会員の皆様のお力添えをいただきながら、誠心誠意、職責を果たしてまいりたいと思います。

何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

・会長エレクト就任挨拶 川上 義史 会長エレクト



以前お話をさせていただいたことがあったのですが、Erect は直立するという意味で、Elect は選ぶとか当選するという意味です。

新会員の方には聞きなれない言葉だったかもしれません、ロータリーでは現会長がいて、次の会長をエレクト、次の次の会長をノミニーと呼びます。ノミニーはノミネートという言葉がありますとおり、指名する(指名された)という意味です。

私は村松直前会長に指名していただき、その後に会員の皆様にエレクトしていただき、今この場に立たせていただいております。

2011年に入会させていただき、15人の歴代会長の中でも同世代の工藤前会長がエレクトされた頃からもし自分が会長になったらと真剣に考えるようにになりました。

その中で、各地のロータリーの会長方針を検索してみると、全国各地の歴史あるクラブが共通して苦労していることは、先輩ロータリアンが大切に創ってきた伝統をどのようにして時代に即したスタイルにしていくか? ということのようです。私も今後それに苦労するんだと思います。

今年は飛岡会長に学ばせて頂きながら、勉強する年と考えています。1年間よろしくお願ひいたします。

■出席報告

会員総数: 87名 (内 免除会員 2名)

出席者数: 61名 (内 免除会員 2名、zoom 参加者 5名)

本日の出席率: 71.8%

■7月プログラム予定

7月9日(水)「決算・監査・予算」「役員・理事就任挨拶」(理事會)

7月16日(水)「ガバナー公式訪問」(理事會)

RI第2500地区ガバナー 佐渡 正幸 様

第6分区ガバナー補佐 石原 英樹 様

第7分区ガバナー補佐 平澤 利秀 様

地区幹事/会員増強委員長 平井 昌弘 様

地区副幹事/ライラ委員長 川村 真一 様

地区副幹事 星 耕一 様

地区大会実行委員長 小野寺英夫 様

7月23日(水)「委員会活動計画発表」(理事會)

7月30日(水)母子の健康月間「ゲスト卓話」 (プログラム委員会)

真井 英臣 様

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●委員長 / 三谷 郁央 副委員長 / 佐藤 真康・大友 一弘

委員 / 荒井 純一・石原 宏治・林 浩史

●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>